



上尾ロータリークラブ

2013-14年度R.I.テーマ

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を



関口 和夫会長

第2536回 例会 会長あいさつ

2014.4.3

週報 No.1991

発行 2014年4月10日

会長 関口 和夫
幹事 齋藤 哲雄
副会長 齋藤 博重
副幹事 久保田 勲
編集責任者
クラブ広報委員長 野瀬 将正

ビジターゲスト
国際ロータリー第2770地区
「ロータリーの友」地区代表委員
中里 公造様

4月17日 卓話 会員増強
維持委員会

4月24日 クラブ協議会③

「各委員長より活動報告」

皆さん、こんにちは。会長挨拶をさせていただきます。今日は、会員の皆様献血の当番、雨の中大変お疲れ様でした。また、国際ロータリー第2770地区「ロータリーの友」地区委員中里公造様、ようこそお出で頂きありがとうございます。今日は、雑誌月間です。「ロータリーの友」のことは、中里様の卓話でお話し頂けると幸いです。

今月の「ロータリーの友」の中で「ガバナーノミニー・デジグネート」と言う言葉の説明がありました。ガバナーの選出過程に、地区ではガバナーノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前36ヶ月前から24ヶ月前までの間に指名しなければならないことになっています。ガバナーは国際ロータリーの役員せあう。地区から選出されたガバナーノミニーは、就任する1年前の国際大会で選挙され、その直後の7月1日にガバナーエレクトになります。地区でガバナーノミニーを指名するのは36ヶ月から24ヶ月まえですが、24ヶ月以前にガバナーノミニーが指名された場合、ガバナーエレクトになるのは1年前です。ガバナーノミニーが2人存在する時期があります。このため、就任するまで24ヶ月以上ある人をガバナーノミニー・デジグネートと呼ぶと2013年4月の規定審議会で採択されました。この言葉を、会員の皆様覚えて頂きたいと思えます。

桜も満開になってきました。桜の種類については、ソメイヨシノ、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、カスミザクラなどがあります。ネットで「このはなさくや図鑑」と言うところにソメイヨシノのことが、説明されていましたのでご紹介します。ソメイヨシノはエドヒガンザクラとオオシマザクラの交配によって生まれたものだそうです。歴史は江戸の（染井、現在の豊島区）の植木屋が、「吉野」の名前で売り出したものとされています。後に奈良の吉野山のヤマザクラと混同しやすいため、明治33年に染井吉野と言う名前に改められました。一般に桜と言えば、ソメイヨシノをさすのが常識的です。それだけ全国に多く植えられ、名所があり、人々になじみ深いものとなっているからだと云えます。ソメイヨシノは、自然に増えることが出来ず、接ぎ木や挿し木などの栄養繁殖の方法をとらざるおえず、結果ロータリーとなってしまいます。ソメイヨシノは、人の手を介さないで生存することが出来ない品種だと云えます。クローン植物のため、遺伝子が同じなので開花が、一斉となるようです。また、寿命は60年と言う説があるようですが、樹勢回復の努力と管理によって寿命を伸ばすことができるようになっていくそうです。このように、何気ない桜の花にも多くの人の努力によって成り立っています。皆様も、その歴史を思いながら桜の花をご覧いただきたいと思えます。以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

齋藤 哲雄幹事

◆本日は献血ということで皆様方には時間割で当番を決めさせていただきましたのでよろしくお願ひいたします。

◆4月9日は第5グループのゴルフ大会が大宮ゴルフコースにて行われます。こちらは吉川パスト会長、尾花パスト会長、齋藤博重副会長、私とで参加させていただきます。

◆4月18日（金）、次年度の地区協議会が行われます。予定者は参加のほどよろしくお願ひいたします。

◆4月22日（火）は第1回上尾RCゴルフコンペを開催いたします。4月14日までに参加ご回答のほどお願ひ申し上げます。

◆ロータリーレートは102円です。

◆4月27日（日）、ロータリーリーダーシップ研修会Part3が行われ、私と久保田副幹事が参加予定です。

◆5月11日（日）、第7回の派遣学生のオリエンテーションのご案内がきております。こちらには島村直前会長のお嬢さんである島村江里香さんと、私か関口会長が出席予定です。

◆上尾商工会議所から広報誌『あびお』の原稿依頼がきておりますので野瀬広報委員長と相談しながら進めさせていただきます。

◆岡野晴光会員が、2月上旬、順天堂大学病院に検査入院しましたが、順調に回復し現在は自宅で療養中になっております。お見舞いは会長と私とで行ってまいります。

会員転勤挨拶

関口会長 リテラ・クレア証券上尾支店の家下さんが転勤ということで、後任の北村支店長がお出でくださいまして当クラブに引き続き入会して下さるということでご紹介させていただきます。北村さんは上尾RCに平成17年3月10日に入会されたことがあり1年間、積極的に例会に参加いただいた方です。これから皆様の仲間となりますのでよろしくお願ひいたします。

家下 隆伸会員

皆さんこんにちは。私が4月から本社へ転勤となりまして、後任の支店長の北村と一緒に本日参りました。お会いした方々にはとても親切にいただき嬉しかったです。入会に際しては皆様にご尽力いただきましたが、何も役にたたずに転勤になってしまうことが心苦しく思う次第です。気持ちは皆様と一緒に、奉仕の精神を大切にさせていただいてまた新天地で頑張っていきたいと思えます。短い間でしたが本当にありがとうございました。



北村 保会員

皆さんこんにちは。先程会長にご紹介いただいたように8年前に1年間だけ上尾支店に勤務させていただきましたときに上尾RCさんにお世話になりました。私のことは覚えていらっしゃるかもしれませんが、私は覚えているお顔が何人かいらっしゃいまして懐かしく思っております。今回は急な異動でした。家下も何もできずに変わることを悔やんでおりますので、今後は北村が引き継がせていただきますので、どうぞ皆さまの仲間に入れていただければと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



例会主題 卓話

月刊雑誌「ロータリーの友」について

月刊「ロータリーの友」地区代表委員 中里公造様

皆さまこんにちは。今年度、ロータリーの友 地区代表委員を仰せつかっております。川口モーニングRCの中里でございます。本日の卓話の内容につきましては「ロータリーの友」に関する事、ならびにロータリー情報について何点かお話しさせていただきます。ロータリーの友代表委員の役割とは、34地区からそ



それぞれ1人ずつ、ガバナーから指名され、委員会内ではガバナーの代理者という位置づけになっています。年間数回の全体会議やゾーン別会議に出席することが義務づけられています。「友」の編集には直接携わっていませんが、編集委員ということもなっています。今年度、渡邊ガバナーからは、「友」への投稿を各クラブならびに会員の皆様に呼びかけてほしいという指示をいただいています。投稿していただくため、まず「友」に関心をもって読んでもらうことが重要かなと思っています。また毎月の感想を、「友」事務局へ提出するというのも重要な役割です。感想を提出するためには、「友」を隅々まで読まないといけないので、ややプレッシャーになっています。各クラブへの卓話訪問も役割です。

ここで「ロータリーの友」の誕生や歴史について簡単に説明させていただきます。今から60年ほど前、1952年までは日本全体が国際ロータリーの1地区でした。そのためさまざまな情報はガバナー月信で共有していました。会員の増加に伴い、1952年7月に2地区（東日本と西日本）に分割されることになりました。分割後も互いに情報を共有し両地区の絆を深める、共通の情報誌を作ろうということで、翌1953年に「ロータリーの友」が創刊されたということです。「友」を広報誌として利用されていらっしゃる方もいますが、誕生の経緯からして情報誌として創刊され現在に至っています。

当初、「友」は横書きでスタートしました。60年前ですと国内ほとんどは縦書きの社会でしたが、そのような中、横組みでスタートしたにはある意味で画期的だった組では具合が悪いということと1972年1月号から縦組みも加わり、現在のように縦組み+横組みの構成になったわけです。現在、横組みは国際ロータリーから指定された記事や、特別月間に関する特集など公式的な記事を中心に掲載しています。またRIの情報や震災関連の記事などさまざまなロータリー情報を掲載しています。一方縦組みは日本のロータリアンのコミュニケーションの架け橋となる記事、全国のロータリアンさんの投稿記事を中心に掲載しています。本年4月号の「ロータリーの友」の発行部数は約9万4,500部です。一時、13万部を超えた時期もありましたが、会員数の減少とともに発行部数も減少しました。

世界にはロータリー地域雑誌があり「the rotarian」が国際ロータリーが発行している機関誌です。ロータリーの地域雑誌にはいくつか守らなければなら

ない規則がありますが、そのひとつが「the rotarian」から指定された記事を翻訳して掲載しなければならないというものです。指定記事には、タイトルの脇にロゴが入っています。毎月の「友」の表紙はロータリアンさんからの投稿写真を使用していますが、新年度の表紙にはRI会長の写真を表紙に掲載することになっています。

話題を変えて今年度から始まった新しい企画を紹介させていただきます。「シリーズ わがまち...そしてロータリー」です。地方で工夫し頑張っている街をとりあげ、ロータリアンに案内していく企画です。プロのライター&カメラマンが同行して記事にしています。

2011年の東日本大震災直後には「心は共に」は、震災関連の特集で3年目を迎えました。震災直後に海外からロータリーの事務所へお見舞いや支援をしたいというたくさんのメールが寄せられました。それらのメールには「私たちは遠く離れていますが、私たちの心は常に日本の皆様とともにあります」という文章が多かったため、このようなタイトルにしたということです。被災地の復興のためにロータリアンの皆様が支援活動をしていくと思えますが、それにあわせて「友」としても震災関連の記事を継続して掲載していくということでもあります。

ここで「友」からはずれてしまいましたが、ロータリアンの3大義務ですが、例会の出席、会費の納入、地域雑誌の購読となっています。例会をわけもなく欠席しつづけたら退会になり、会費を滞納していたら退会になります。同じように「ロータリーの友」の購読を停止したら、国際ロータリーの加盟資格が一時的にストップするという場合があります。「購読」が義務ですので、購入するだけでなくぜひ読んでいただくと思います。ただいま試験的に電子版をホームページにアップしています。次年度以降、印刷物かウェブで読むかを選択することができるようになるかもしれません。電子版も便利に読めますのでご覧いただければと思います。

さてこれからは日本では常識的に思われていることが、世界ではどうなのだろうかということをご案内いたします。例会時間は1時間、点鐘は12:30から、例会場には国旗を掲揚する、これらはロータリアンの方なら当たり前と思われるかもしれませんが、ほとんどのクラブの細則には開催曜日、開始時間は記載されています。しかし終了時間は書かれていないことが多いです。ということは例会時間は1時間とは決められていないということですね。クラブ細則にもぜひ明記すべきだと思っています。

日本では1時間ですが、海外のクラブでは1時間半～2時間という珍しくありません。また例会開催は圧倒的に昼が多いですが、例えば韓国では70%のクラブが夜の例会なんです。韓国では若い会員が増えている、会員増強にも影響しているのではないかなと思っています。世界全体でも60%は夜の例会になっています。

次に例会場で国旗を掲揚し国歌を斉唱する理由です。1937年に盧溝橋事件をきっかけに日中戦争がおきその後日米開戦になるわけですが、ロータリーはアメリカでできた国際的な団体ということで反政府的だといわれるようになりました。例会には憲兵が立ち会い、スピーチは事前に警察に届け出が必要でした。当時のロータリアンはいへんな思いで例会を開催していたわけです。そのような中、アメリカのスパイでもなく、反政府的でもない、国に忠誠を誓うという意味で例会場で国旗を掲揚し国歌を斉唱するようになったということでもあります。しかし残念ながら日本で最初にしてきた東京ロータリークラブは1940年11月には国際ロータリーを脱会することになってしまいます。当時の米山梅吉さんの最後の言葉は「それでも奉仕の理想はあくまでも堅持したい」でした。断腸の思いだったのだと思われまます。このような歴史的背景をお伝えするのも私たちの役目だと思います。

日本のロータリーの歴史を語る中でもう1つターニングポイントとなっているのが1923年の関東大震災です。死者9万人、負傷者10万人、焼失家屋68万戸、全壊1万1千戸というたいへんな被害だったのですが、この災害がある意味で日本のロータリーを目覚めさせました。というのは時のRI会長から義援金として2万5千ドルが送られてきました。また海外の大きなクラブからも義援金が送られてきて、総額は8万9千ドルに達しました。この金額に当時のロータリアンは驚いてしまい、世界のロータリアンの素晴らしさを実感したそうです。それまで熱心な活動をしていなかった日本のロータリーは、これを機会に新たなスタートをしたのだと思えます。

最後に「推奨ロータリー・クラブ細則」ですが、日本の常識は世界とは違っていますので、例会の議事の順序などはもっとと自由でもいいのかなと思えます。以上です。



中里様 卓話ありがとうございました。



4月3日、上尾駅東口で献血運動を行いました。あいにくの天候でしたが大勢の方に献血していただきました。皆様、ご協力ありがとうございました。



出席率
出席 会員数 36 出席数 26
欠席 欠席数 10 (%) 72.22

スマイル 39,000円

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新組エクスビル303
例会場 東武パネットホール4F(ボリアス) TEL/FAX 048-775-7788

